

2011.3 発行

財団法人岡山工学振興会編

第23回（平成23年度）学術研究助成等の公募

平成元年に設立いたしました(財)岡山工学振興会の学術研究助成等の公募も今回で23回目を迎えることとなりました。現在までの助成額も22,951.4万円に達することができました。財団を取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いていますが、平成23年度においても、次の4項目について公募します。

1. 学術研究の助成、2. 国際研究集会等派遣の助成、3. 学術研究集会等への助成
4. 産学官連携研究会への助成

I. 学術研究の助成

1. 目的

この助成は、大学と産業界の連携を図りつつ、岡山県内における理工学に関する学術ならびに先端技術に関する研究を助成し、その振興を図ることにより、岡山県における科学技術社会の発展に寄与することを目的としています。

2. 研究助成の対象

理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、又は2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの

3. 研究助成種目

研究の目的・性格に応じて、次の研究種目を設けています。

- (1) 奨励研究 申請時に37歳以下の研究者自身が、将来の中心課題として取り組む、優れた着想と発展性を備えた、学術的あるいは先端技術に関する萌芽的研究
- (2) 一般研究 特色ある成果を挙げている研究者が、新しい発想によりさらに学会・社会で認知される水準を目指して取り組む、学術的あるいは先端技術に関する研究
- (3) 特別研究 この研究助成は「内山勇三科学技術賞」と称し、平成元年に内山工業株式会社元会長故内山勇三氏の寄附金で設けたもので、特色ある先導的成果を挙げている研究者が、それを特許取得または実用化が展望できる内容に発展させることを目指した、先端技術に関する研究

4. 研究助成件数と助成額

- | | | | |
|----------|-----|-----|-----------------|
| (1) 奨励研究 | 4～5 | 件程度 | (1件 30～50万円程度) |
| (2) 一般研究 | 2～3 | 件程度 | (1件 70～100万円程度) |
| (3) 特別研究 | 2 | 件 | (総額 400万円まで) |

5. 研究助成の申請

(1) 応募資格

理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専及び公的研究機関に所属する者

(2) 申請手続

申請者は研究の目的、性格、必要性等を十分に考慮のうえ、適切な種目で「研究助成申請書(様式1A)」を作成し、所属研究機関の代表者に提出し、その推薦を受けてください。研究機関の代表者は、申請書類を研究種目ごとに取りまとめ、下記7に提出してください。

(3) 申請書類

申請用紙は当財団のホームページから申請書がダウンロードできます。

また、財団事務局までご請求くだされば、電子データの様式を差し上げます。

6. 提出期限

平成23年4月8日(金) 必着

7. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内
財団法人岡山工学振興会事務局(ご持参またはご郵送願います。)

Tel・Fax : (086) 255-8311,

E-mail : ofst@cc.okayama-u.ac.jp

URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

8. 選考結果

- (1) 選考委員会で選考し、理事会の議を経て決定します。申請者及び推薦者に対し、採否、助成金額、交付の期日と方法を通知いたします。

決定予定時期 平成23年7月中旬

- (2) 採否決定経緯の問い合わせには応じかねます。

- (3) 申請書類等は、原則として返却いたしません。

9. 研究の実施期間

研究実施期間は原則として1年です。ただし、研究内容によっては、次年度以降の継続も認められます。

10. 助成金の使途

申請課題以外の目的に使用することはできません。

研究代表者が病気等で長期にわたって研究ができなくなる場合、又は研究者が他の研究機関等へ異動される場合は財団にご連絡ください。

11. 研究終了後の手続

研究者は助成期間に応じ研究実績報告書を研究終了後提出していただきます。その詳細は採択時にお知らせいたします。

12. 研究成果の公表

(1) 研究成果を公表する場合は、下記の財団名を参考にして当財団から助成を受けた研究である旨を明記してください。

和文例 : 財団法人 岡山工学振興会

英文例 : Okayama Foundation for Science and Technology

(2) 助成を受けた研究者は、4~5 年後に当会から研究成果の発表講演を要請する場合があります。その場合は、特別の事情がない限り必ず応じてもらいます。発表講演では、岡山県内の理工学の発展または先端技術の向上と研究成果の結びつきについて具体的に述べてもらいますのでご承知おきください。

(研究成果発表講演会については、後記の当振興会の研究成果の普及及び情報の収集・提供等の事業をご参照ください。)

II. 国際研究集会等派遣の助成

1. 目的

岡山県内の大学及び民間の優れた研究者及び技術者等を、国外で開催される理工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣し、研究成果の発表、情報の収集及び交換の活動を援助することにより、岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上を図ることを目的とします。

2. 助成対象の研究集会

外国で開催される理工学分野の先端技術に関する国際研究集会で、国際的に権威のある学会、学術団体又は学術研究機関等が主催するもの。

3. 応募資格

派遣研究者は次の要件を満たすことを必要とします。

- (1) 大学又は研究機関等において、理工学の優れた研究活動の実績があること。
- (2) 研究集会において、講演もしくは研究発表（ポスター発表を含む。）を行うこと、又は座長になることなど重要な役割を果たすこと
- (3) 研究集会への参加により、研究の著しい向上が期待されること
- (4) 研究集会における活動に必要な語学力を有すること
- (5) 申請時の年齢が、45 歳以下であること

4. 申請手続

申請者は「国際研究集会等派遣助成申請書（様式2A）」を作成し、所属研究機関の代表者に提出し、その推薦を受けてください。研究機関の代表者は、申請書類を取りまとめ、下記 6 に提出してください。

申請用紙は当財団のホームページから申請書がダウンロードできます。

また、財団事務局までご請求くだされば電子データの様式を差し上げます。

5. 提出期限

平成 23 年 5 月 6 日（金） 必着

応募状況によっては 10 月頃追加募集を行うこともありますのでお問い合わせください。

6. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内
財団法人岡山工学振興会事務局（ご持参またはご郵送願います。）
Tel・Fax：（086）255-8311,
E-mail：ofst@cc.okayama-u.ac.jp
URL:<http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

7. 選考結果

選考委員会で選考し、申請者及び推薦者に採否、助成金額、及び交付の期日と方法を通知いたします。

8. 研究集会参加後の手続

研究集会参加後1ヶ月以内に「国際研究集会等参加報告書」を提出していただきますが、国際研究集会での活動内容が岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与することが具体的にわかる報告であることが必要です。詳細は採択通知を差し上げるときにお知らせします。

Ⅲ. 学術研究集会，学術講演会への助成

1. 目的

岡山県内で開催される理工学分野の先端技術に関する学術研究集会、学術講演会を対象とし、その開催経費の一部を補助することにより、岡山県内の理工学と先端技術の発展向上を図ることを目的とします。

2. 助成対象の学術研究集会

岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する先端技術に関する学術研究集会で、次のいずれかに該当する研究集会

- (1) 学協会及びその支部が主催するもの（岡山県下で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー、講習会等）
- (2) 公知された懇話会、研究会等が主催するもの
- (3) 財団が認める組織が主催するもの

3. 助成要件

岡山県内の研究機関に常勤する研究者が世話人として申請するもので、財団ニュース又は学会誌等で広報されるものであること。

4. 助成の制限

助成の偏りを避けるため、1団体等への助成回数、同一世話人が申請できる1年度当たりの件数、他財団等からの助成数等について基準を定めて、助成の制限を行っています。

なお、詳細は「助成の手引〔改訂版〕」を参照してください。

5. 助成の申請

助成の申請は研究集会等の開催時期に応じて下表の通り定めています。申請者はメ切日までに「学術研究集会等助成申請書（様式4A）」を作成し、財団事務局へ提出してください。

申請用紙は当財団のホームページから申請書がダウンロードできます。

また、財団事務局までご請求くだされば、電子データの様式をお送りいたします。

開催時期	申請〆切日	開催時期	申請〆切日
4月～6月	2/18	10月～12月	8/19
7月～9月	5/13	1月～3月	11/18

6. 助成の決定と義務

選考委員会で選考し、申請者にはその結果をすみやかに連絡いたします。採択された研究集会等から刊行される印刷物には、共催、協賛、後援、賛助等の冠を付けて財団名を記載してください。

7. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内
財団法人岡山工学振興会事務局（ご持参またはご郵送願います。）
Tel・Fax: (086)255-8311, E-mail: ofst@cc.okayama-u.ac.jp
URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

8. 研究集会参加後の手続き

研究集会参加後1ヶ月以内に「学術研究集会等開催報告書」を提出していただきますが、研究集会の開催が岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与することが具体的にわかる報告であることが必要です。詳細は採択通知を差しあげるときにお知らせいたします。

IV. 産学官連携研究会への助成

1. 目的

岡山県内の大学と産業界の連携を図りつつ、理工学に関する学術ならびに先端技術に関する研究を助成し、その振興を図ることにより、岡山県における科学技術社会の発展に寄与することを目的とします。

2. 助成対象の研究集会

理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会

3. 事業の範囲

研究会等が行う事業の範囲は次のとおりとする。

- (1) 理工学に関する研究成果の普及に関するもの
- (2) 先端技術研究に関する情報の提供に関するもの
- (3) 理工学に関する産学交流事業に関するもの
- (4) 理工学教育の振興に関するもの
- (5) その他財団の目的を達成するために必要なもの

4. 申請手続

研究会等を設置する場合は、「研究会等設置申請書（様式5A）」及び「研究会等助成申請書（様式6A）」を財団事務局に提出してください。

申請用紙は当財団のホームページから申請書がダウンロードできます。

また、財団事務局までご請求くだされば、電子データの様式をお送りいたします。

5. 提出期限

平成 23 年 4 月末日

6. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学新技術研究センター内
財団法人岡山工学振興会事務局（ご持参またはご郵送願います。）
Tel・Fax:(086)255-8311, E-mail:ofst@cc.okayama-u.ac.jp
URL:http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/

7. 選考結果

選考委員会で選考し、申請者に採否、助成金額及び交付期日と方法を通知いたします。

8. 研究集会修了後の手続

研究会等の代表者は、毎年年度終了後速やかに当該年度の研究会等事業収支報告書を提出していただきます。

学術研究集会・学術講演会の助成

平成 22 年度の学術研究集会・学術講演会の助成（第 4 回助成分）の申請件数は 2 件、平成 23 年度の学術研究集会・学術講演会の助成（第 1 回助成分）の申請件数は 4 件でした。この分野の選考は、研究助成選考委員会、第 2 選考委員会（委員長 高橋則雄 岡山大学教授）により行われ、下表のとおり決定いたしました。

平成 22 年度第 4 回学術研究集会・学術講演会の助成

研究集会名	主催団体名	世話人
第 54 回有機電解合成公開セミナー	有機電解懇話会	(岡山大学) 田中 秀雄
第 49 回セラミックス基礎科学討論会	日本セラミックス協会	(岡山大学) 三宅 通博

平成 23 年度第 1 回学術研究集会・学術講演会の助成

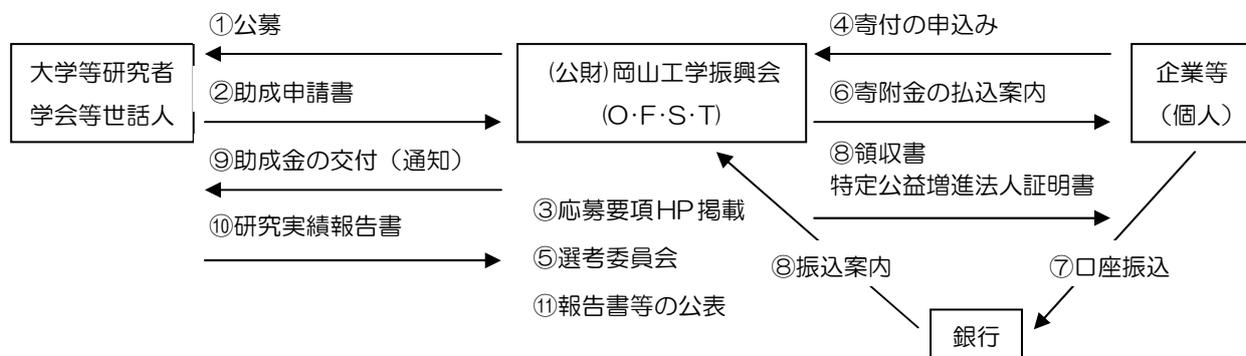
研究集会名	主催団体名	世話人
日本伝熱学会創立 50 周年記念第 48 回 日本伝熱シンポジウム	日本電熱学会	(岡山大学) 春木 直人
電気加工懇話会 第 61 回例会	電気加工懇話会	(岡山大学) 岡本 康寛
(社)日本機械学会ロボティクス・メカトロ ニクス講演会 2011	(社)日本機械学会ロボティクス・メカ トロニクス部門	(岡山大学) 則次 俊郎
第 14 回市民フォーラム 「未来を拓く農芸化学」	日本農芸化学会中四国支部	(岡山大学) 稲垣 賢二

1. 学術研究集会等のお知らせ

- ☆ 名 称 **電気加工懇話会 第61回例会**
主 催 電気加工懇話会
内 容 電気加工全般の新しい技術、研究等の情報交換および勉学を目的とした研究会であり、本例会では、最近の国内外の最新の学術研究の紹介、製造現場における電気加工技術に関する討論、および最新の微細放電加工技術に関して講師を招いての特別講演などを行う。
日 時 平成23年4月15日(金)
場 所 岡山国際交流センター国際会議場
問合せ先 岡山市北区津島中3-1-1 〒700-8530 電話 (086) 251-8039
岡山大学大学院自然科学研究科 岡本 康寛
- ☆ 名 称 **第14回市民フォーラム「未来を拓く農芸化学」**
主 催 日本農芸化学会中四国支部
内 容 著名な農芸化学者3名が一般市民向けに、暮らしに関わる生物と化学の興味深い話題を提供する。
1. 「古くて新しい酵母の話」(広島大学名誉教授 宮川都吉) 2. 「フェロモンの話」(東京大学名誉教授 森 謙治) 3. 「暮らしに役立つ微生物の話」(京都大学名誉教授 清水 昌)
日 時 平成23年5月21日(土)
場 所 岡山大学一般教育棟
問合せ先 岡山市北区津島中1-1-1 〒700-8530 電話 (086) 251-8299
岡山大学大学院自然科学研究科 稲垣 賢二
- ☆ 名 称 **(社)日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会2011**
主 催 (社)日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門
内 容 本講演会では、ロボティクス・メカトロニクスに関する学術講演会で、我が国における当該分野を牽引する重要な講演会の一つである。初日はチュートリアルやワークショップ等の市民開放行事を、2、3日目には1,200件を超えるポスターセッション形式による講演発表、ならびに30社程度による機器展示が実施される。
日 時 平成23年5月26日(木)～5月28日(土)
場 所 岡山コンベンションセンター
問合せ先 岡山市北区津島中3-1-1 〒700-8530 電話 (086) 251-8061
岡山大学大学院自然科学研究科 則次 俊郎
- ☆ 名 称 **日本伝熱学会創立50周年記念第48回日本伝熱シンポジウム**
主 催 日本電熱学会
内 容 本シンポジウムは、日本における伝熱に関連する学術・技術の発展と、会員相互の親交を図ることを目的としている。本シンポジウムでは、381件の最新の伝熱技術や学術研究に関する講演と質疑応答を行うとともに、学生を含めた研究者間の親睦と情報交換を行う。
日 時 平成23年6月1日(水)～6月3日(金)
場 所 岡山コンベンションセンター
問合せ先 岡山市北区津島中3-1-1 〒700-8530 電話 (086) 251-8048
岡山大学大学院自然科学研究科 春木 直人

※平成 23 年 4 月 1 日から、次のとおり研究助成寄附金の取扱いを変更いたします。

学術交流推進等助成金の取扱いについて



大学等の研究者を対象に公募した学術研究・学術集会等に対して賛同する企業等の寄附金をもって助成する手続は以下の順序で行います。

- ① 財団の年報・ニュース・HP 等で随時公募を行っています。
- ② 研究者等は助成申請書（様式 1-1、1-2）を財団事務局へ提出して下さい。
- ③ 財団は応募状況を随時 HP に掲載します。
- ④ 賛同する企業等は寄付金申込書（様式 2）を財団事務局に提出して下さい。
- ⑤ 財団は選考委員会で採否を決定します。
- ⑥ 財団は企業等に払込銀行、口座番号等を示した寄附金払込案内（様式 3）を差し上げます。
- ⑦ 企業等は指定銀行に寄附金を振り込んで下さい。
- ⑧ 財団は銀行より振込通知があり次第、領収書及び特定公益法人としての証明書（免税証明）を送付します。
- ⑨ 助成金を採択された研究者に対し交付します（様式 4-1、4-2）。
- ⑩ 助成金の交付を受けた者は研究期間終了後 1 年以内に研究実績報告書（研究継続中の場合は中間報告書）（様式 5）又は学術集会開催後 1 ヶ月以内に学術集会終了報告書（様式 6）を財団事務局に提出して下さい。
- ⑪ 報告書等は随時財団 HP により公表します。

学術交流推進事業公募

1. 目的

この助成は、岡山県内における理工学に関する学術ならびに先端技術の向上を目指した優れた学術研究および学術集会開催等を助成し、その振興を図ることにより、岡山県における科学技術の発展に寄与することを目的としている。

2. 研究助成等の対象

理工系の基礎及び応用研究または、これらに関わる学術集会等。

3. 研究助成等の種目

(1) 学術研究推進助成

特色ある成果を挙げている研究者等がさらに高水準を目指して取り組む、学術的あるいは先端技術に関する研究。

(2) 学術集会開催推進助成 岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する学術集会、学術講演会。

4. 研究助成等の費用

学術研究推進助成等申請書の研究内容等に賛同する企業等の寄附金をもって充てる。

5. 研究助成件数及び金額

概ね30件程度（1件1万円以上）

6. 研究助成の申請

(1) 応募資格 理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者または研究グループで岡山県下の大学、高専等教育研究機関に所属する者。

(2) 申請手続 申請者は研究の目的、性格、必要性等を十分に考慮し、学術研究推進助成申請書（様式1-1）を、または学術集会開催推進助成申請書（様式1-2）を作成し下記8に郵送またはメールで提出してください。

(3) 申請書類 申請用紙は当財団のホームページからダウンロードできます。また、財団事務局に請求くだされば、電子データの様式を差し上げます。

(4) 受付開始 平成23年4月1日から

7. 提出期限

毎月月末

8. 提出先・お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号

財団法人 岡山工学振興会事務局

Tel・Fax：(086) 255-8311, E-mail：ofst@cc.okayama-u.ac.jp

URL：<http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>

9. 選考結果

選考委員会で選考（審査）し、申請者及び寄附者に採否、助成金額、交付期日等を通知する。

10. 研究・集会終了後の手続

助成期間終了後1年以内に学術研究推進助成実績報告書（研究継続中の場合は中間報告書）（様式5）または学術集会終了報告書（様式6）を提出して下さい。

11. 研究成果等の公表

財団HPにおいて公表する。

✿ ほっと交流会

「岡振サロン」では毎月第2金曜日に色々な方に「ほっとな話題」を提供していただき、気軽に意見を交わす「ほっと交流会」を開催しています。お気軽にご参加下さい。

平成23年3月11日（金）18:00～

講師 岡山大学 名誉教授 小西 忠孝

「学術語の由来と成り立ち（その3） 「学問・理学とその関連語」について」

○場所：岡山大学新技術研究センター1F、参加費（軽食付）：賛助会員：800円、非会員：1,000円

お問合せ先：Tel, Fax: 086-255-8311

財団事務局 E-mail: ofst@cc.okayama-u.ac.jp

URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst>

(財)岡山工学振興会賛助会員の募集について

(財)岡山工学振興会は、平成元年2月3日に設立された特定公益増進法人です。本財団は、理工学に関する研究を進行するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携をはかり、もって学術および技術開発の進展に寄与することを目的としています。

そのために次のような事業を行います。

- (1) 理工学に関する研究の助成と研究者の養成援助
- (2) 理工学に関する研究調査およびその斡旋
- (3) 理工学に関する研究成果の普及
- (4) 先端技術研究に関する情報の収集および提供
- (5) 理工学に関する教育研究機関と地域社会との連携交流事業

当財団が今後事業活動の発展、充実を図っていくためには、基金の充実を緊急の課題と致しております。このため、広く関係各位のお力添えを賜りたく、当財団の寄付行為第32条に定めている賛助会員の募集とその充実を計画いたしております。

本会の趣旨にご賛同のうえ、是非とも賛助会員をお引き受け頂き、ご支援賜りたくお願い申し上げます。

◆賛助会とは・・・

本財団の目的に賛同し、その事業に協力する法人または個人で組織する会です。本財団の寄附行為第32条には、次のように定められています。

「この法人の目的に賛同する法人または個人であって、理事会の定める賛助会費を納付したものの、または特別の寄附を行ったものを賛助会員とする。」

◆賛助会員の特典

- 1 研究課題および研究者についての各種の情報（最新の研究年報等）が提供されます。
- 2 講演会、セミナーに参加できます。
国の内外から第一線の研究者を招き、理工学分野で話題となるトピックスについての講演会やセミナーを開催します。
「バイオテクノロジー」「ネットワーク技術」「ナノテクノロジー」「高速デジタル技術」など、先端技術の研究成果と今後の展望について、研究者の生の声をお伝えします。
- 3 各種学会が開催するセミナーあるいは特定分野における短期の技術者養成を行える研究室などを紹介し、若手技術者の養成を援助します。
- 4 技術相談のお世話をします。工学的な立場からのアドバイスを希望されるときには、その相談に応じます。
- 5 産学交流に協力できます。共同研究、委託研究等についても、緻密な人的ネットワークを駆使して適切な研究者を紹介します。

上記の他、賛助会員に有意義な事業の企画について、各位からご提言賜れば幸いです。

◆申し込み手続き

- 1 (財)岡山工学振興会事務局までご連絡いただければ、「賛助会員申込書」をご送付します。

電話/Fax : (086)255-8311 e-mail : ofst@cc.okayama-u.ac.jp

- 2 賛助会費（年額）

(1)法人会員	1 □	50,000 円	1 □以上
(2)個人会員	1 □	5,000 円	1 □以上